

鬼怒川・小貝川流域イベントガイド(1月~4月) 

小貝川水害から25年~語り継ごう小貝川の歴史~ 

下館河川事務所からのお知らせ 

写真(栃木県益子町) 小貝川へ白鳥飛来

問合せ先

鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議
事務局:国土交通省下館河川事務所
(きぬ・こかい情報発信局)

TEL:0296-25-2161(代表) FAX:0296-22-7009

URL: <http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/>

リーオはHPでもご覧いただけます。
リーオはスペイン語で川の意味です。

2012 WINTER

鬼怒川・小貝川流域イベントガイド

男体山
中禪寺湖

東武日光駅
大谷川
日光駅
下今市駅
今市駅

1月

① 勝山探鳥会

15(日) 開催場所: さくら市勝山公園
問合せ先: うじえ自然に親しむ会事務局
さくら市ミュージアム内
028-682-7123

② 第20回にのみやたこあげ大会

22(日) 開催場所: 鬼怒川河川敷緑地公園(砂ヶ原橋南)
問合せ先: 二宮地区子ども会育成会連絡協議会
事務局(真岡市公民館二宮分館内)
0285-74-0107

③ 第6回つくばみらい市たこあげ大会

29(日) 開催場所: 総合運動公園(多目的広場)
雨天時は体育館にて品評会に変更
問合せ先: つくばみらい市観光協会
0297-58-2111(代)

2月

④ 鬼怒フラワーライン草取り交流会

19(日) 開催場所: 鬼怒フラワーライン(大形橋上流河川敷)
問合せ先: 花と万人の会(下妻市都市整備課)
0296-43-2111

⑤ 鮭の稚魚放流会

26(日) 開催場所: 勤行緑地(中館観音寺東)
問合せ先: しもだて紫水ロータリークラブ
0296-24-8181

3月

⑥ ふるさと再発見!! River & Railway Walk@小貝川

10(土) 開催場所: 水海道駅観光案内所前集合
問合せ先: 水海道まちづくりネットワーク
0297-27-0890

⑦ 勝山探鳥会

18(日) 開催場所: さくら市勝山公園
問合せ先: うじえ自然に親しむ会事務局
さくら市ミュージアム内
028-682-7123

⑧ シナダレスズメガヤの抜き取り作業

20(火) 開催場所: さくら市運動公園前河川敷
問合せ先: うじえ自然に親しむ会事務局
さくら市ミュージアム内
028-682-7123

4月

⑨ ふるさと再発見!! River & Railway Walk@小貝川

14(土) 開催場所: 石下駅東広場集合
問合せ先: 水海道まちづくりネットワーク
0297-27-0890

⑩ 福岡堰さくらまつり

4月上旬 開催場所: つくばみらい市福岡地先
問合せ先: つくばみらい市観光協会
0297-58-2111

⑪ 根本山桜まつり

3月下旬 ~ 4月上旬 開催場所: 真岡市根本地先
問合せ先: 真岡市観光協会
0285-82-7205

上記については、1月16日現在で掲載しています。詳細については、問合せ先へお尋ね下さい。



小貝川水害から25年～語り継ごう小貝川の歴史～

昭和61年8月(台風10号)により、茨城県内の小貝川がはん濫し大きな被害が発生してから25年が経ちました。また、今年は3.11東日本大震災や台風12,15号など全国各地で大きな災害により被災しています。国土交通省関東地方整備局下館河川事務所では、当時の状況を振り返り、この経験を風化させることなく後世に語り継ぐとともに、日頃の防災意識を高めることを目的に平成23年12月4日(日)にシンポジウムを開催しました。復旧時に事務所長でおられた福田昌史氏(現高知工科大学理事)の基調講演や、はん濫の被害を経験した住民の方、先頭に立って住民救助や復旧に当たった筑西市・下妻市・常総市の消防団長らによるパネルディスカッションを聞かれた約200人の参加者からは「体験者の生の声を聞いて被害の大変さがわかった、復旧の苦勞が理解できた、様々な機会を通じて語り継いで行かなければならない」などのご意見をいただきました。



シンポジウムを開催しました

昭和61年洪水浸水実績図



昭和61年8月台風10号による集中豪雨が小貝川流域を襲い、水位がほぼ全川にわたって計画時の基準数値を超え、150年に1回と言われるほどの出水となりました。被害は下館市(現筑西市)の面積の約4分の1を泥水の海に変え、下流の下妻市、石下町(現常総市)、水海道市(現常総市)などにまで及びました。

氾濫面積4,300ha



浸水家屋4,500戸



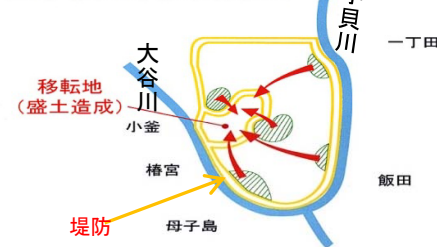
昭和61年の洪水(母子島地区)



母子島遊水地造成と集団移転 このような被害がふたたび起きないようにするために、直轄河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)が行われ、被害の大きかった母子島(はこじま)地区を遊水地に造成するとともに、その地区内に点在していた5集落を集団移転し、遊水地内に新しい町を作るという全国でも初めての改修事業が行われました。

移転家屋数:109戸(381棟) 基地:100件 公共施設:10件 豚舎・牛舎

集団集約移転方式



*12月4日開催シンポジウム福田昌史氏「基調講演資料」より引用



事業着手前

事業着手後

みんなで行ってみよう!

◆1月29日◆つくばみらい市 5周年記念
第6回つくばみらい市たこあげ大会

開催場所:総合運動公園(多目的広場)

雨天時は体育館にて品評会に変更

◆4月上旬◆ 福岡堰さくらまつり

開催場所:つくばみらい市福岡地先

さくらの開花時の、土曜日・日曜日に特設会場を設け
各種イベントや地元農産物の販売を行います。

問合せ先:つくばみらい市観光協会
0297-58-2111(代)

下館河川事務所からのお知らせ

災害に備えて！小貝川危機管理演習を平成24年2月に実施

平成24年2月に取手市と合同で小貝川危機管理演習を実施する予定です。
危機管理演習では、実際の災害発生時において、洪水対策及び重大災害対策への判断・指導・実施が迅速かつ適切に対応できるように、国の職員と沿川自治体の職員が、情報伝達や、避難勧告の発令の検討、災害復旧工法の検討等などの実働演習を行い、災害対応の充実をはかっています。

昨年度の鬼怒川危機管理演習（常総市と合同で実施）に引き続き、本年度は下館河川事務所と取手市が連携し、小貝川において洪水による堤防決壊が発生したことを想定して演習を行う予定をしています。また昨年3月東日本大震災を受け防災意識の向上を高めていく必要を感じている今、実働的訓練により引き続き災害に備えて参ります。



市災害対策本部

下館河川事務所
洪水対策支部



許可工作物履行検査の「湛水期前事前検査」を実施します

下館河川事務所では、河川の安全確保に万全を期するため、毎年＊出水期前の5月に河川の許可工作物の管理状況等を検査する「許可工作物履行検査」を実施しています。しかし鬼怒川・小貝川には、農業用水の取水などのために3月下旬頃から堰などが閉鎖され、出水期前の5月には施設の一部が湛水してしまう箇所や開門できない施設などがあります。そこで、5月に湛水等で検査を行えない箇所については、＊湛水期前に事前点検を実施し、的確な施設管理につとめています。

湛水前であれば確認できる箇所の検査をしています



今年も2月に樋管や橋梁・堰などの該当する箇所について「湛水期前事前検査」を実施します。

今回の検査では、平成23年3月の東日本大震災の発生により、さらに詳細な点検を行なっていく必要があります。

＊鬼怒川・小貝川では梅雨や台風など例年雨の多い6月～10月を出水期と呼んでいます。
＊農業用水の取水などのために堰などが閉鎖され水がたたえられる時期を湛水期と呼んでいます



操作記録や写真と照合して確認中

鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議で地域づくりを！ブロック部会始まる

鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議は、鬼怒川及び小貝川について意見を交換し、河川空間の適正な保全と利用を図るとともに、両川を介した地域の交流を促進することによって流域の好ましい地域づくりに資することを目的に鬼怒川・小貝川流域24市町、茨城県、栃木県、国土交通省で構成しています。毎年7月に行われ今年度で21回目の開催となった“鬼怒川・小貝川クリーン大作戦”はネットワーク会議が鬼怒川・小貝川流域の活性化を図るため、市町・県・国が地域と連携して行っている活動のひとつです。

平成23年度は6月に幹事会を、1月から2月頃にかけて流域を上下流で4つに分けたブロック部会を開催し、鬼怒川・小貝川の流域の河川空間の適正な保全と利用、地域づくりの活動について、構成市町等で情報提供や意見交換を行う予定です。



鬼怒川・小貝川流域ネットワーク会議構成市町

鬼怒川・小貝川
クリーン大作戦



リーオでは皆さんのご便りをお待ちしております。川のこと、自然のこと、河川事業に関する事など、電話又はホームページのお問い合わせにお寄せ下さい。

電話番号：0296-25-2161（代表）

HP：<https://www.ktr.mlitt.go.jp/shimodate/toiawase/input.htm>

鬼怒川・小貝川沿川地域づくりを積極的に支援します。
地域の皆様の相談の窓口となります。お気軽に声をおかけ下さい！

